

市民クラブ通信

発行 市民クラブ / 発行責任者 成田 忠志 千葉県八千代市村上 1113-1 2-2-301



成田 忠志 会派代表・福祉常任委員会

市民クラブの代表をさせて頂いております成田忠志です。私は地元の老人会でも活動しておりますが、近年、仲間の方々の一人住まいの方やご夫婦だけの方が増えてきているように感じております。それに伴い安全な生活や、体調不良にどう対応するか、個人で我慢せずに行政との繋がるように地域の福祉委員や福祉部門の紹介などをしております。また介護施設で働く職員、保育園や幼稚園で働く若い職員さんの待遇が民間企業の社員との格差があることから、国や県での対応や補助金などのUPを求め八千代市選出の代議士や県議共々取り組みをさせて頂いております。今後とも、市民目線で活動をさせて頂きます。

林 隆文 議会運営委員会 委員長・総務常任委員会

2026 年を迎え、気持ちも新たにスタートを切りました。今、本市では本年 4 月開校に向けて緑が丘第二小学校の工事が着々と進められています。また、市役所新庁舎の建替え工事も現在進行しています。本市の発展と共に建てられた公共施設は、一様に老朽化が進んでおり、今対策を講じなければ、次世代へ負担を強いることになります。そういったことから、ここ数年は歳出超過が見込まれますが、必要なものには予算を投じていかなければなりません。我々議会と致しましても、予算が有効活用されるよう、今後も議会活動に尽力してまいりますので、ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

小澤 宏司 文教経済常任委員会 委員長

市議会議員として 3 期目の最終年を迎えました。昨年から日本大学法学部政治経済学科の通信教育部に再入学して地方自治や経済政策などを学んでおります。50 歳を過ぎてもチャレンジする事。学ぶことの大切さと楽しさを実感しながら、八千代市の持つポテンシャルを最大限に活かしていきたいと考えます。是非とも皆様の八千代市に対する篤い思いやお困りごと、アイデアをお聞かせください。「想いをカタチへ」変えていきます。

澤田 新一 八千代市議会副議長・福祉常任委員会

昨年は、副議長にご推挙いただき、初めて議会運営に携わることができました。微力ではありますが、より円滑で建設的な議会運営に貢献できたと感じております。本市が直面する人口減少を見据え、さらなる発展を遂げるには「魅力的で賑わいのある街」をつくることが不可欠です。その実現に向けて「コンパクトシティ」「企業誘致」「街の整備」「まちづくり」の推進に取り組む必要があります。今後も市民の皆様に寄り添い、いただいた声に真摯に耳を傾けながら、本市発展のため課題解決に取り組んで参ります。

崎村 知生 広報委員会 委員長・文教経済常任委員会

2026 年を迎えました。本年は全国さくらシンポジウムが開催されます。八千代をアピールしていく年でもあります。一方、物価高騰による市庁舎の立て替えをはじめ新設みどり丘第二小学校建設工事など厳しい財政状況となりますが市民サービスの質を落とさぬよう市政へ訴えていきます。年頭にあたり、新たな気持ちで、住みやすい街、住み続けたい街を目指し、崎村ともおは邁進して参ります。

市議会ホームページで
八千代市政を覗いてみよう



八千代市議会 録画放送



議会質問 質疑応答一覧



行政視察 Report

2025 年 8/4, 5, 6 行政視察研修



① 美唄市 ふるさと美唄応援団について

八千代市ではふるさと納税の市外流出額が寄付額を大幅に上回る状況が続いている。人口は微増という状況にあるが八千代市で生まれ育ちながら転出する方も多くいる現状があり、関係人口の増加や関わりを持ち方次第で、市内経済やふるさと納税に一定の効果を示すような取り組みを模索した。美唄市の取り組みは、止められない人口減少から関係人口の創出を目的とした取組であり、美唄市民は応援団に加入することは出来ないが美唄に居住していた・働いていた・遊びに来たことがあるなど関係人口にスポットを当て美唄の魅力を発信してもらうという取り組みである。ふるさと納税は米を中心に納税額がかなり増えたが、コメ価格の高騰により品薄となり半減したとのこと。札幌や東京の美唄市民の会などの協力を得る事とともに地域おこし協力隊などを積極活用し特産品・グルメ・観光スポット・アクティビティのPRを依頼している。また 10～30 代の美唄市民 11 人が「美唄の未来に夢を描く委員会」を立ち上げワークショップなどを開催している。



》》》 次ページへ続く